



湯沢市無形民俗文化財「大名行列」
写真提供 湯沢地区保護司 中嶋和広

広報みちしるべ

令和七年度 第二号
湯沢地区保護司会

〒021-0824
湯沢市佐竹町四一五
湯沢地区更生保護サポートセンター
☎0183-561-6195

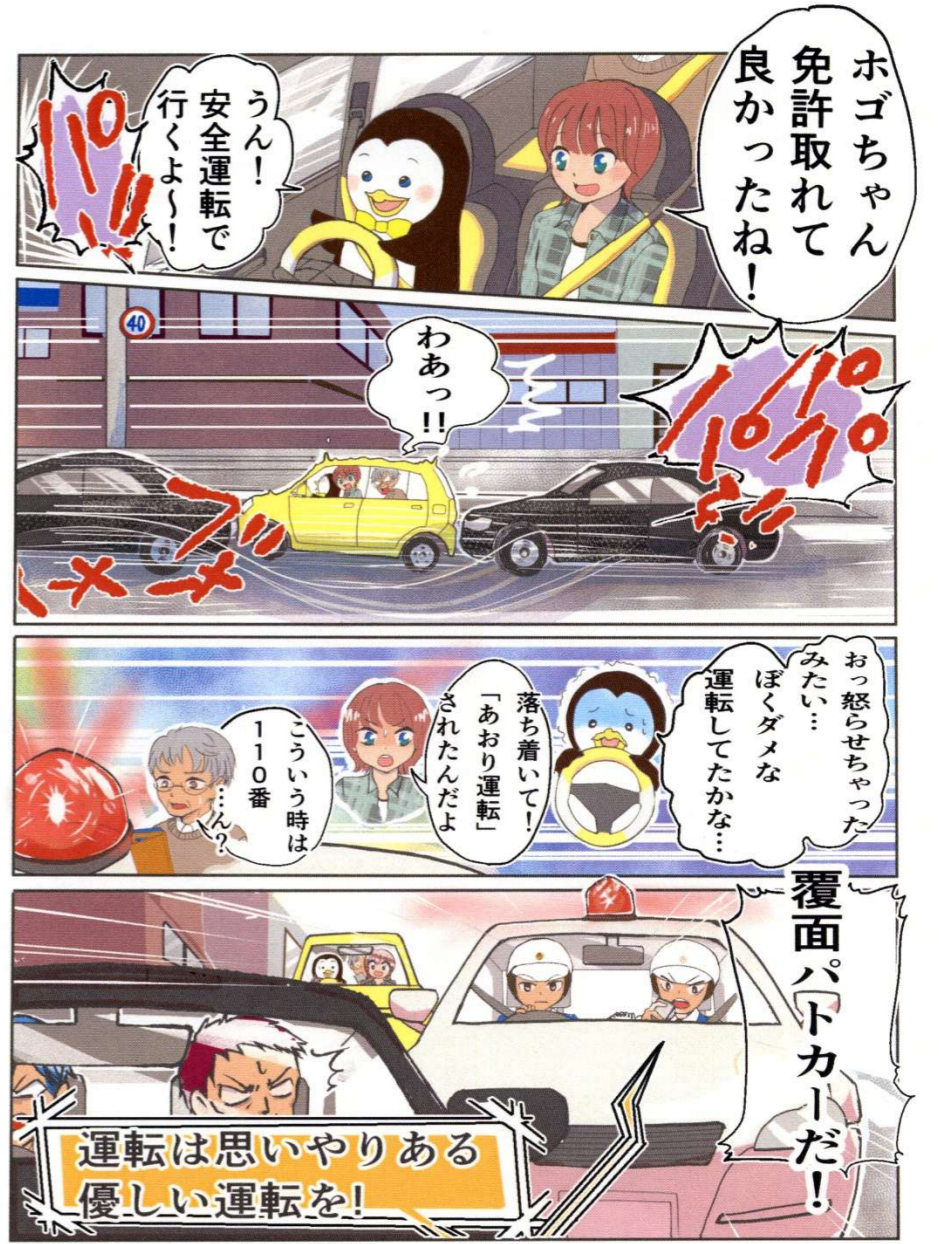
「研修の秋」

湯沢地区保護司会 会長 尾久一雄



今年も猛暑の中「社会を明るくする運動」強調月間の事業等を、皆様のご協力のもと無事に終えることができましたこと、御礼申し上げます。
秋の気配を感じられるようになってきたこの時期は、保護司会にとっては研修の秋といえることができます。県南ブロック研修会を皮切りに、多くの研修等が開催されます。お忙しいところとは思いますが、是非ご出席いただきますようお願い申し上げます。

どの研修も保護司としての活動をするにあたって大事な研修であり、しっかりと受講していただきたいものばかりです。しかしながら、お仕事の関係でなかなか出席が難しい方もいらっしゃると思います。特に最近保護司になられた方は、研修等をしっかり受けたいうちに保護観察事件を担当するようになったら、と不安を抱えている方もいらっしゃるのではと思います。そのような時にはサポートセンターと地区会の活用をお勧めします。サポートセンターには経験豊富な保護司が常駐しており、いろんな相談にも応じてくれます。また、五つある地区会は皆さんが居住しているご近所の保護司さん方で構成している会です。保護観察事件が複数担当で実施される際にも、一緒に担当される可能性の高い保護司さん方に相談してみるのもいいのではないのでしょうか。
湯沢地区保護司会には、新しい保護司さんがどんどん入会されています。経験豊富な保護司さんと新しい保護司さんがお互い助け合いながら保護観察について学んでいけるような保護司会でありたいと思っています。



作者の紹介
藤原 こゆきさん
(湯沢市駒形在住)



更生保護のマスコットキャラクター「ホゴちゃん」

編集後記

今年の夏も暑かったですね。
そう言えば、六月に車を購入しました。フロントガラスに傷があると思っただけ、一気にひびが走り、車検等の見積もりは中古車か買えるほど。そこで中古車検索サイトを駆使し、セダン二五〇〇c、四WC/VDC、予算〇〇万円、販売地域は秋田県で検索。良さげな車両を見つけて知人の警察官に相談したら、「アスリート系はいじってる車が多いし腰手術した後ならロイヤルがいいかも」と言うこととなり、販売先の中古車屋さんの社長さんと相談し、何年かぶりに白いセダンを購入する運びとなりました。二十代の頃は、車のCMやテーマソングに未来への夢が描けました。今はどうだろうか...。
十三年落ちの車を今日も楽しみながら、まだ未来予想図は描けるよ！そう思っている自分があります。

広報委員

入江 妙子 栗山 晃昇 東海林 久美子
中嶋 和広 八河 継美

第七十五回

社会を明るくする運動

協調月間終了

みんなで手を携え考えたい
全国「社会を明るくする運動」

＝七月は強調月間で様々な啓発活動を実施＝

非行や犯罪を生まない、温かく安心ある社会はみんなが願うところです。たとえ一人の力は小さくとも、みんなが其々の立場で協力し合い、そんな地域づくりを目差していきたいものです。湯沢地区保護司会でも月間中、次のような活動やイベントに取り組みました。

①七月一日「社明セレモニー」

内閣総理大臣メッセージを市長や町長、村長に伝達しております。

②七月一日「のぼり旗の設置」

湯沢市中心部商店街や各地区随所に百本以上の啓蒙の旗を設置しました。



③七月六日「ふれあい広場」での広報活動

雄勝文化会館オービオンを会場に開催の福祉交流イベントにて社明運動の啓発実施。

④七月九日「FMエイトピア」での社明運動

広報のラジオ放送

保護司会から二名の保護司が番組に出演しキャスターとの軽妙な会話の中で社明運動をアピールしました。

⑤七月十一日「湯沢駅東西連絡通路での

広報活動」

早朝の湯沢駅で、通学や通勤などで行き交う方々に挨拶運動での声掛けやウエットテイスシュを配りながら啓発活動を行い清々しい時間が持てました。

その他活動として、期間中、広く個人の皆様はじめ、商店や企業などの皆様方から「社明活動へのご寄付」を賜ったり、「管内の各小・中学校の生徒の皆様」に社明作文コンクールへの出品依頼」を行い、若い素直な目線と感性豊かな作文の提出を頂き其々が、大人目線でも感心したものでした。

会員の広場

保護司の任期が終わりに近づいて来ました。ホツとしている反面、宙に浮いているような複雑な気持ちです。

新人保護司の頃のような緊張感はなく、研修会などに出席しても居心地のよい自分の居場所のように感じる時もありました。

素晴らしい人間味のある保護司の方々に囲まれた時間は、私の人生の中でも落ち着く気分と生きていくための指針になっております。

犯罪予防ばかりでなく家庭生活や社会生活などの大切さを研修会で学び、自分にとってもよい経験を与えてもらったと感じております。

これからは身体が動くかぎりボランティア活動をしていきたいと思っております。

長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。

これからも湯沢地区保護司会の一層のご発展を心よりお祈りいたします。

七山 純子



秋田県保護司会連合会
ホームページ



秋田県保護司会連合会
Facebook



湯沢地区保護司会
Facebook

SST研修会に参加して

令和七年九月七日(日)、講師に柿崎真澄先生・横山史帆先生をお迎えし、SST研修(SSTとはソーシャルスキルトレーニングの略で、人との関わり方を学ぶ訓練です)として「面接の基本について」を学びました。受講した方の感想を寄稿して頂きました。

●研修の大切さを実感

長谷山 信介

保護司の使命は、罪を犯した人や非行のある少年の改善更生を支援するとありますが実際の職務では、人と関わり面接することが一丁目一番の仕事かと思えます。今回のSST研修は私たちの大切なツールであり、何度も行うことでスキルアップされるものと大切さを再認識いたしました。私は、十五年間保護司の仕事に自信がありません、が故に研修はすべてに参加してきました。

●SST講習を受けて

西村 光喜

この度SST(Social skills training)で、人とコミュニケーションを取るのに必要な、共感と受容について、勉強させていただきました。今の社会はどうしても否定されることが多く、認められる事で、自分を受け入れてくれると印象付けることによって、最初の壁を取り除くことが出来ることを学べて本当に良かったと思います。二回目もぜひして頂きたいと思えます。



●自主研修に参加して

高須 雅子

今回の内容は日常の人間関係にも役立つものでした。一番印象に残ったのは、正のフィードバック、褒めることです。相手に興味を持ち相手の価値観を大切に、褒めることが習慣になるようにする。講師の先生方の見事なフィードバックは、とても気持ちがよく、信頼関係づくりに効果的なのがよくわかりました。ぜひ基礎編の次の研修もお願いいたします。

●SST講習を受けて

鈴木 和基

今回のSST研修では、相手の意見を受け入れる寛容さと相手の気持ちに寄り添うことの大切さを再認識する機会となりました。特に対象者との信頼関係を構築するためには相手の良いところを見逃さず、褒めることで心の距離を縮めることができることを学びました。今後はこの学びを保護司活動に活かせるようにさらに精進したいと考えております。

県南ブロック研究会に参加して

令和七年度県南ブロック更生保護活動研究会が十月二日(木)に浅舞地区交流センターにて開催されました。今回の研究テーマは「社会を明るくする運動」(略称「社明運動」)を通して、一般の方への周知啓発活動や今後の広報活動についてでした。その中で富田潤一秋田保護観察所長の講演があり、考えられる工夫例として・総理大臣メッセージの伝達セレモニーや社明作文の表彰を住民にオープンにしてイベント化する。その際アトラクションとして様々な活動を発表する場を作ったり、社明運動のパネル展示やパンフレットの配布コーナーを作ったり、自治体の広報誌や地元FMでの周知活動をするなどしてみては?などのお話がありました。

これまでわが地区で行われていた社明運動にはない広報・啓発活動のヒントを得られた会でした。今後の活動に役立てたいと思えます。

